

『アジア地域臨床獣医師等総合研修事業』を再開!!

令和4年4月26日(火)、(公社)日本獣医師会主催の「アジア地域臨床獣医師等総合研修」のための来日している研修生5名が、日本獣医師会の藏内勇夫会長を表敬訪問されました。



藏内会長は英語で、研修生は日本語で、それぞれ自己紹介をされました。研修生は、キルギス、スリランカ、台湾、マレーシア、タイの方々です。

総合研修事業の目的のひとつは、「家畜感染症の防疫に従事する獣医師の養成」です。

家畜感染症のうち鳥インフルエンザなど人獣共通感染症であるものは家畜衛生・公衆衛生の垣根を超えた連携が必要です。

藏内会長は、研修生の方々に「皆さんにはそれぞれの専門領域の知識・技能を深めていただくとともに、ぜひ日本に滞在中にワンヘルスについても学び、帰国後に積極的に普及する役目を担ってほしい」と話されました。

【アジア地域臨床獣医師等総合研修事業の概要】

○開催期間

(フェーズ1) 平成4年度～平成14年度 144名 14カ国・地域

(フェーズ2) 平成28年度～(継続中) 38名 15カ国・地域

○事業概要

日本の家畜衛生の向上及び越境性感染症等の侵入防止を図るため、口蹄疫、アフリカ豚熱(A S F)等の越境性感染症や人獣共通感染症が常在化しているアジア諸国で家畜の診療・防疫業務等に従事する臨床獣医師等を日本に招聘し、獣医師学系大学等において先端的知識・技術を含む臨床業務等を習得させる。

○研修期間 1年間

2022年4月30日

福岡ワンヘルス協議会・事務局